

414
A 4396
/



米穀綜理表ノ調製僅カニ成ル今之レヲ上呈スルニ際シ
上申スヘキモノアリ從來此等ノ布算ヲ為セシモノヲ視
サルヲ以テ百方其標據ヲ搜索スルニ啻ニ時日ヲ費シ毫
モ其效ヲ收ムル能ハス纔カニ確實ト稱スヘキモノヲ得
タルハ地籍ナリ戸籍ナリ釀造石數ナリ而シテ地籍ノ如キ
ハ猶ホ緊要ニ係ルモノアリ其他收穫米ヲ始メトシ食費
ノ如キ農戶ノ如キ總ヘテ憶測ニ出ツルヲ以テ之レヲ實
額ト云フヲ得ス苟モ其憶測ヲ用ヒスレテ實計ヲ求メ
ト欲スルヤ今日ニ於テ未タ能ハサルモノアリ其一端ヲ
舉クルキハ米穀ノ數タル從來ノ調査ハ大槩二千五六百
萬ニ上ラサルカ如シ故ニ止ムヲ得ス此憶測ヲ為スモノ
ナリ米穀猶ホ斯ノ如シ雜穀ニ至ツテハ普乎際涯ヲ見ス

大正十一年四月贈月



故ニ其調査ハ既ニ着手シテ日夜憶案ヲ勞スト雖モ此際
未タ上呈スル能ハス其タ以テ遺憾トス但底幾スル所ハ
漸次完全ト視認ムヘキモノヲ調成シテ 高照ニ備ヘン
ト欲スルニアリ伏シテ乞フ亮察アラシムラ

大藏權大書記官石渡貞夫



米穀綜理表説明書

收穫米ノ調査

凡ソ收穫米ヲ緊計スルニ田地ノ数ヲ詳カニセサレハ積
算シ能ハサルヲ以テ地租改正局ノ調査セル地籍ニ因ツ
テ合算スルニ田地總計二百五十八万九千九百二町七反
三畝三步内越後半國薩摩大隅日向ハ緊美ニ係ルトナル平年凡ソ平均一町
ニ付十三石三斗ヲ收ムルモノトスルキハ則チ三千四百
四十四万五千七百六石餘ヲ得ヘキモノトス而ノ田地ニ
ニモ專ニ米穀而已播種スヘキニ非スシテ草棉甘蔗蘭草
ノ類ヲ仕立ツルアリ又ハ種々ノ事故ニヨリ播種ヲ休止
スルアリテ田地ヲ墾ケテ米作スルモノトモ見做シカタ
キカ子ヘニ勸農局ノ調査ニ係ル明治十年農産物表ノ米
穀植地段別ヲ参酌シテ先ツ其植地ヲ定メテ二百四十三

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈

六 藏 卷
万千七百九十四町餘ト槩算シ其餘十五万八千七百七町余
ハ雜作シ又ハ手餘リ地ト見做シ之ヲ省ケリ而ノ耕種ノ
巧拙培養ノ良否地力ノ肥瘠アルカユヘニ郡國其獲量ヲ
異ニスルヲ以テ地租改正ノ際調査セル收穫高ト地方官
ヨリノ通報トヲ參酌シ各國ノ獲量ヲ求メシニ本年ハ最
モ風雨時季ニ適スルヲ以テ則チ應分ノ秋成ヲ得テ最上
地ハ一町毎ニ三十石乃至二十七石ノ收アリ之レニ嗣
クノ地ハ二十五石乃至十七石ノ收アリ中等ノ地ハ
十六七石乃至十石以上ノ收アリ最下ハ十石乃至五六石
ノ收アリ然ノ其最上地ハ百分中ノ二三分ニ過キス其中
等ニ位セル二十石以下ノ土地ハ最モ其多キニ居リ最下
モ亦最ニ地ニ均シク其數寡シトスルヲ以テ之レヲ槩量
スレハ一町毎ニ平均十五石五斗六升以上ヲ收メ得タル

モノト算定セリ或ハ疑ハン本年ノ秋成ノ如キハ二割以
上三割ノ増額アルヘケレハ平均十七八石ノ收アラント
是ノ説理アレトモ其實然ル能ハサルモノアリ如何トナ
レハ地力ノ分量自ラ限リアレハ常ニ獲量ノ多キ無難ノ
土地ハ季候適度ヲ占ムルモ分外ニ其量ヲ増ス能ハサル
モノアリ或ハ其量ヲ増スモ少許ニ止マルモノアリ又ハ
何分歟故障ナキ能ハサルカユヘニ之レカ平均ヲ求ムル
ニ至ツテハ斯ク多量ヲ得カタキモノナリ然リト雖モ猶
ホ此ニ一言スヘキモノアリ今此ニ槩算セルモノハ地籍
ト農産表ノ田地ニ依リ起算セルモノニシテ其地籍中ニ
掲クル荒地若シクハ試作地未定地ノ如キ未タ收利ノ定
マラサルノ地ハ既ニ若干ノ獲量アルヘシト雖モ本田ニ
未タ加算スヘカラサルヲ以テ自ラ其收穫ハ脱漏セルモ

ノアリ猶ホ且ツ地籍ニ編入スヘカラサル湖沼ノ沿縁田
形ヲ為サ、ル土地ノ收穫モ多少アルヘシト雖モ筭計ノ
扱ルナキヲ以テ筭入セサルカユヘニ若干ノ脱漏アラシ
若シ是等ヲ筭入スルヲ得ハ全國ヲ擧ケテ四千万石以上
ノ獲量アルモ未タ知ルヘカラサルナリ

消費米ノ調査

凡ソ消費米ノ數ヲ際筭スルニ當リ先ツ農戶ノ數ヲ詳ニ
セサルヘカラス然ルニ從來調査セシモノアルヲ視ツ在
来ノ戶籍表ニ扱ルニ職業ノ部ニ農人ノ數ヲ合シ一千五
百六十三万六千百十三人トアリ全國総人員ノ十分ノ四
半強ニ居リ頗ル其至少ヲ覺ユ若シ此筭ヲ的實ノモノト
見做シ其戶數ヲ求ムルニ平均一戸五人ヲ以テ筭スルキ

ハ則チ三百十二万七千二百二十二戸ニ過キス此數ヲ以
テ全國田畑ノ際計四百三十三万七千七百二十八町一及
四畝一步七合八タヲ除スルキハ則チ一戸平均所有田畑
一町三及八畝七〇八六七ニシテ頗ル其額ノ超過ヲ覺ユ
曾テ實際ノ經驗ニ扱ルキハ一戸ノ平均田畑凡ソ最多ナ
ルモ一町乃至一町一二及寡キハ五六及ニ滿ツル能ハス而
シテ六七及乃至七八及ニ至ルモノ比々之レヲ視ル今大
觀上ヨリ之レカ平均ヲ求ムルキハ七段ヨリ少ナカラス
八段ヨリ多カラサルモノトス則チ一戸五人口ノ内壯男
女二口中男女一口老幼各々一口ト見積ルキハ之レカ力
役耕耘ノ度ニ適シ其歲收以テ一戸ノ活計ヲ為スニ足リ
恰モ適當ナルヘシト信ス故ニ戶籍表ノ農人ノ數ハ壯男
壯女ノ才役者ヲ擧ケタルモノト考ヘラル是ニ於テ再ヒ

全國総人員中ヨリ華士族神官僧侶工商雜業及ヒ種々ノ人員ヲ除キ殘額二千七百九十二万六千二百〇六人ヲ以テ農戶ノ人員ト定メ一戸五口ノ積リヲ以テ之レヲ五除スルキハ則チ五百五十八万五千二百四十一戸ヲ得テ之レヲ農ノ戸數ト定メ以テ戸數ヲ以テ田畑總計ヲ除スレハ則チ一戸平均ノ田畑七段七畝六六四餘ヲ得テ恰モ目的ノ点ニ歸ス乃チ左表ノ比例ト為ルガ故ニ之レヲ假ニ農家ノ戸口ト段畝ノ數ト定メテ積算ノ用ニ供セリ

戸籍表	農人	田	畑	戸數
一五、六三六、二二三	二、二七、二二二	二、五八九、九二七、三〇三	一、七四七、八二五、四〇二、八七	五、八五、二四一
同上	同上	同上	同上	同上
新定ノ農人	農人	田	畑	戸數
二、七、九二六、二〇五	同上	同上	同上	同上
同上	同上	同上	同上	同上

郡村ノ食費ハ年ノ豊凶ニ隨ツテ消長ヲ為スモノナリ今豊年多費スルモノニ就キ概算スルニ當リ各地ニテ稷粟其他ノ雜穀ヲ併用スルノ慣習ヲ參酌シ米穀ノ消費ヲ増減シ其中上食ノモノト下食ノモノトヲ區別シ男女老幼ノ人員各々其量ヲ積算セシニ或ハ消費ノ適當ナラサルヲ覺ユルカユヘニ更ニ子細ニ考察スルニ一人別ニ積算セルヲ以テ適當ヲ得サリシモノナリ是ニ於テ更ニ右積算ヲ根拠トシ一國毎ニ一戸ノ人員ノ平均額ヲ求メシニ一戸ノ人員五人九分余ニ當ルアリ三人六分余ニ當ルアリ乃チ其多寡ニ應シ毎日ノ炊爨ノ額ヲ定メ戸數ヲ以テ算出セシ額ナリ則チ之レヲ平均スルキハ左ノ如シ

郡村ノ戸數	六、二二四、六七二内	五、八五二、四一農戶	六、三九四、三二雜戶
日	食費二、五六〇、八一六内	二、〇二四、三二五農戶	二、三二七、五六〇雜戶
		一戸平均三、六二四、四強	一戸平均〇、七六三強

市街ノ食費ハ東京ハ十一年一月一日ノ現人員ニ因リ其
他ハ各府縣ヲ巡歴セシモノ、手記又ハ十年文部省年報
書ニ掲ケタル各市街ノ戸數表等ヲ參酌シ旧大名ノ城下
陳屋及ヒ宿驛等可及的算入セシモノニテ總戸數一百〇
四万千二百七十二戸ノ食費ヲ積算セシモノナリ此戸數
ハ全國總戸數ノ中ヨリ假定ノ農戸數ヲ引去リシ殘額一
百六十八万〇七百〇三戸ノ六分一厘九毛強ニ居リ則チ
市街ニ住スル華士族神官僧侶工商雜種ノ人員ト假定ス
其殘餘ノ三分強乃チ六十三万九千四百三十一戸ハ郡村
ニ住スル華士族等ノ人員ト看做スモノナリ

市街ノ戸數一〇四、二七二

一戸平均五、三八二強

一人平均一、二一八四強

釀造費ハ租稅局ニ於テ十一年收稅セシ實額ニヨリ其畸
數ヲ少シク損益セシモノナリ則チ清酒味淋銘酒白酒濁
酒等ヲ合算セシモノナリ其割合ハ左ノ如シ

全國戸數七、二六五、九四四

一戸平均〇、五四四強

一人平均〇、一一五三強

沖繩縣ヲ除ク

種々ノ消費ハ凡例ニ説ク所ノ如シ而シテ其割合ハ新穀ノ
總計ニ照ラシ又ハ市街ノ輸入高ノ算ニ因リ食費ノ殘
餘ヲ以テ此額ニ充テタリ然レモ本年ノ如キ豐歲ニ當リ
テハ郡村ニ於テノ消費ハ意外ニ増加スルモノニシテ實
際ハ此額ヨリ超過スヘキヤノ疑アレモ若シ其不足アル
氏收獲ノ算外ニ脱漏スルモノ之レヲ補ヒ以テ大ナル差
違ハアルマシキト察セラル、カユヘニ假ニ此算ヲ為ス

モノニテ其割合ハ左ノ如シ

郡村ノ消費 一戸平均 〇、一六六七強 一人平均 〇、〇三五〇三強

市街ノ消費 日 〇、四三八一強 日 〇、二二一八強

以上六項ニ説明セル各件ヲ約言スルハ左ノ如シ

植地総計 二、四三、四九四^町強 農家一戸平均 四、三五三九^町

收穫総計 三、八一、〇九一^町三 一及平均 一、五六六八強

郡村市街 食費総計 二、八一、七七一、四八七^町

收穫ニ對シ七割三分九厘強ニ当ル

醸造費 三、九五二、七六三^町

收穫ニ對シ壹割〇三厘強ニ当ル

種々ノ消費 一、二八八、七三五^町

收穫ニ對シ三分三厘強ニ当ル

日残額 四、六九六、二二八^町

收穫ニ對シ壹割二分三厘弱ニ当ル

農戸ノ歳入歳費 五、五八五、二四一

農戸ノ數 四、三五三九^町

一戸ノ所有田平均 六、八二二強

日收穫 三、六二四四^町

日食費 〇、一六六七強

收穫ニ對シ五割三分一厘強ニ当ル

日種々ノ消費 三、〇三〇九^町

收穫ニ對シ二分四厘強ニ当ル

日残額 一、五六六八強

收穫ニ對シ四割四分四厘強ニ当ル

前々越高及ヒ流通高ノ調査

前々郡村ニ旧穀ノ存在セルモノモ亦詳ニセサルヘカラ
サルカユヘニ實況ヲ視察スルニ凡ソ農間ノ風俗トシテ
上農乃々三四町歩ノ田畝ヲ所有スルモノハ數年乃至二
三年前ノ旧穀ヲ若干貯蔵シ凶荒ノ豫備トシ中農ハ或ハ
然ル能ハサルモ新穀既ニ場ニ登ル後數ヶ月ノ間ハ猶ホ
前年ノ收穀ヲ食用トナスカユヘニ前年又ハ其前年ニ非
常ノ凶作アラサル以上ハ多少ノ貯蔵アルモノトス小作
類所謂水吞百姓近年明治二年ノ荒歲ヲ除キ三年以來堅
ハ此限ニ非ストス子平年又ハ豐熟ヲ占メタルヲ以テ十一年少シク不熟ナ
リシモ農家ハ猶ホ多少ノ旧穀ヲ存スヘキモノト察シ不
動越高ノ科目ヲ設ケ其堅美ヲ為セシモノナリ其割合ハ
左ノ如シ

農戸五五八五二四一 越高三五二八三三六 一戸平均〇六三七強 一人平均〇二六三強

則チ一戸平均食費ニヶ月分ヲ支フルモノトス

前々流通石高ハ都會及ヒ郡國ノ市場ニアルモノト消費
者ノ戸内ニアルモノトヲ合算セシモノニシテ固ヨリ旧
穀ヲ消費シ盡クシテ后々始メテ新穀ノ市場ニ出ツルモ
ノニ非サルカユヘニ此科目ヲ設ケテ前々ヨリ市場ニ運
轉シアル所ノ旧穀ヲ槩計シテ掲クルモノナリ其數或ハ
寡キカ如シト雖モ新穀登場ノ后々ハ農家ニ於テ新米ト
旧穀ト詰替ラナシ其旧穀ヲ新米ニ併セテ市場ニ出タス
オユヘニ乃々前項前々不動越高 以ニ其額ノ寡ヲ視ルモ
ノナリ則チ其額ハ市街ノ消費高ヨリ莫出シテ流通ノ多
額ヲ要スル地ト繁忙ナル地ト又ハ種々ノ情況ヲ參酌シ

ヲ多キハ二ヶ月寡キハ十五日分ヲ積算セシモノナリ其割合ハ左ノ如シ

市街ノ戸數一〇四、二七二 流通高四七、九八六 一戸平均〇、四五、四二強
則チ一戸平均ノ食費一ヶ月ヲ支フルモノトス

以上ノ二項ハ其數額ハ確認シカタレト虽氏以越高ハ必ス無カラサルヘカラサルモノナルカ故ニ假リニ目的ヲ以テ算出セリ而其數タル積算スルキハ斯ク大數ヲ視ルト雖氏之ヲ全國ノ毎戸ニ配當スルキハ未タ必スシモ其多キヲ覺ヘス加之近年農戸ノ富實ヲ増加スル景況アレハ或ハ不動石ノ數タル以額ヨリ遙ニ超過スルモ知ルヘカラスト雖モ之ヲ推算スルノ法ヲ得サルカユヘニ暫ク全國ノ人口以需用ヲ得サレハ生計ヲ為スヘカラサル

モノト視認ノタル數ヲ求メテ掲出セルモノナリ則前ノ二項ヲ合シテ全國ノ準備トス其數左ノ如シ

四〇〇、一三一二 收穫對シ一割〇、四九九強ニ当ル

農戸賣却米ノ調査

郡村農家ヨリ賣却スル米穀ハ都會及ヒ市街ニ流用ス可キ根元ナルカユヘニ其際計ヲ求メント欲シ之レヲ審査スルニ近來郡村ノ富實増加スルト米價ノ昂貴スルカユヘニ頗ル其額ノ減少スルヲ覺ユルナリ然レ氏田租ノ納期ト冬春ノ際農家ノ用度ヲ辨センガタメ金錢ヲ要スルニ當リテハ必ス米穀ヲ賣却スヘキモノト視認ムルヲ以テ府縣納租ノ金額ニ基ツキ其石高ヲ求ムル左ノ如シ

田租 三〇、七二八、四八六、五五〇 對シ米 四、八九八、九三五 代價平均一石 六二、七二、四強

地方税 六一四六〇九〇八九六円 米 九四九五九六六円 六四七二三強
 民費 六一四六〇九〇八九六円 米 一〇四二四四〇〇円 五八九五八強

計 四三〇二〇六六八四七 計 六八九〇九七一 六二四三強

田租ニ對スル米額ハ一月三月四月ノ納期ニ由リ各々其米價ヲ假定シ金額ヲ除シテ其米額ヲ求メ地方税及ヒ民費モ同様ノ順序ヲ以テ其米額ヲ求メタリ而シテ地方税ハ田租ノ五分ノ一ヲ目的トシ民費ハ戸數割税及ヒ各種郡村公私ノ費途ニ供スルモノト着做シ金額ハ地方税ト同數ヲ目的トスレ民米價月ヲ異ニスルヲ以テ少差ヲ生セリ其他家或ハ定マリタル郡村ノ賣先へ送賣シテ市街ニ運轉ヲナスベカラサルモノト着做シ之レヲ算セス而シテ之レカ割合ヲ算スレハ即チ左ノ如シ

田租ニ對スル米 四八九八六二九 農家一戸ニ付平均 〇・八七七〇六

地方税ニ對スル米 九四九五九六六 同 〇・一七〇〇

民費ニ對スル米 一〇四二四四〇〇 同 〇・一八六〇

計 六八九〇九七一 同 一・二三三七

(收穫總計ニ對シテハ壹割八分〇八毛強ニ當リ市街ノ消費額五・八六一三四七ニ比シテ超過スル一・〇二九六二四ナリ)

之ヲ代價ニ積算スレハ四三〇二〇六六八四四七ニシテ即チ一戸平均七七〇二五六ニ當ル

然レ氏尚ホ以上へ醸造家等へ賣却スルモノノ假ニ四百五十万石アリト見テ之ヲ合計スルキハ左ノ如シ

一・三九〇、九七一 農家一戸ニ付平均 二〇三九四七七

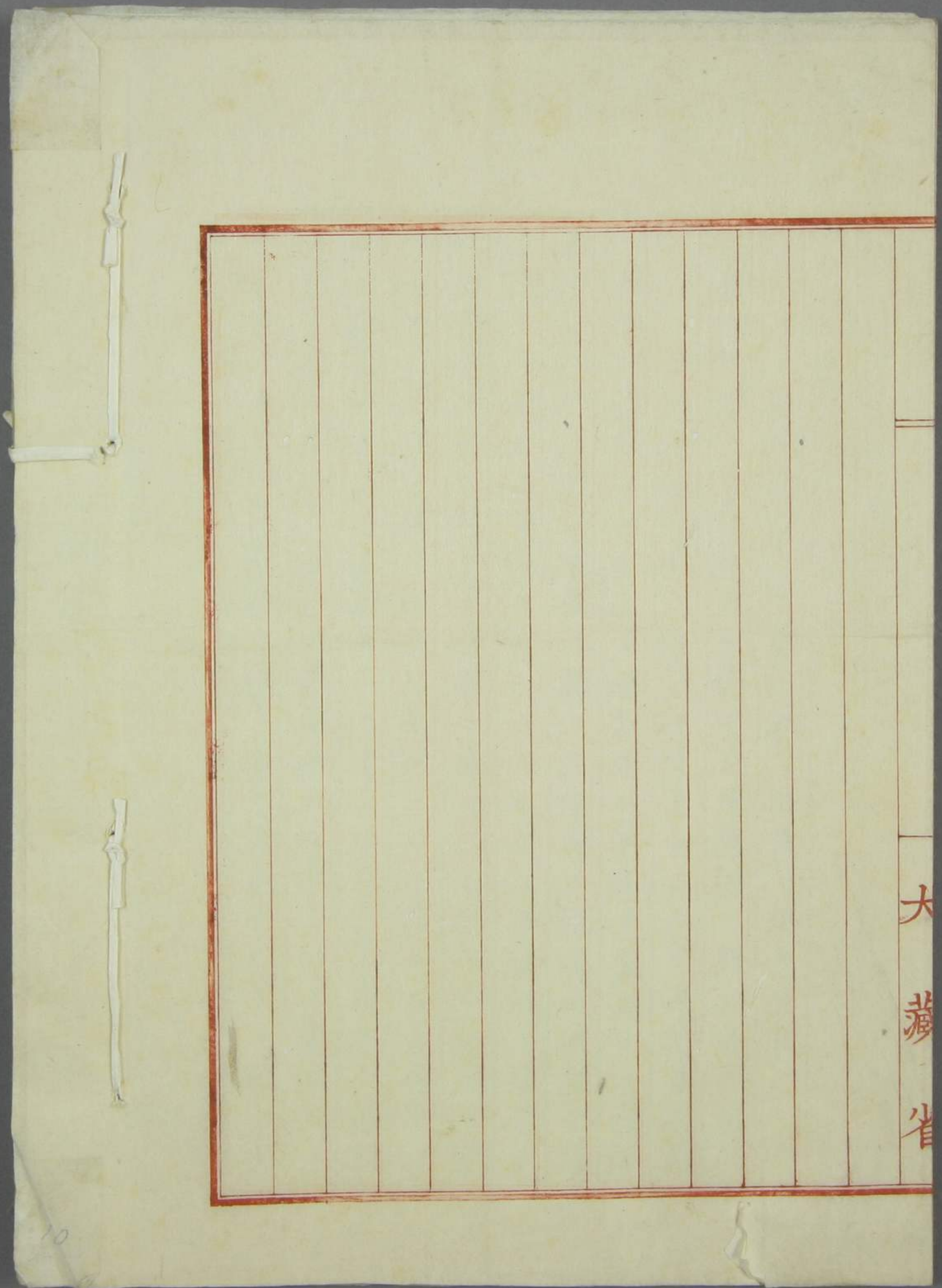
(收穫總計ニ對シニ割九分八厘九毛強ニシテ一戸歳出ノ残余三〇三〇九ニ對シ六割七分二厘強ニ當リ猶ホ〇、九九三ノ残余ヲ視ルモノナリ)

之ヲ代價ニ積算スレハ七一・一四・三八七八三二三八ミシテ即チ一戸
平均一二七三二五五ニ当ル

米穀輸出入際算ノ調査

輸出ノ米額タル農家ノ賣却米ヨリ起因シテ不足ノ需要
ニ充ツル其情勢價格ニ隨ヒ轉輾常ナク最モ確數ヲ得カ
タキモノナリ一二輻揍ノ地ニ於テ實際ノ景況ヲ諮詢ス
ルニ大數ヲ擧ケテ例セハ五万石乃至十万石ト稱スルモ
細カニ出入船舶ノ數ヲ檢スレハ際子照合セサルモノア
リ或ハ單一ナル米苞ノ各所ヲ通過スル毎ニ其數ヲ現出
シ重複スルアリ或ハ不足ノ土地ニ於テモ一時金融ノ夕
ノ輸出ヲ為シ再ヒ他所ヨリ輸入ヲ要スルアリ際スルニ
其運用意匠ノ外ニ出テ算數ノ得テ推量スヘキ所ニ非ス
今強クテ此推算ヲ為スニ常ニ輸出ヲ為ス而已ニシテ輸

入ヲ要セサル北國諸港ヲ始ノ最モ觀易キモノニ就キ其
大數ヲ求メ輸入ヲ要スル東京大坂兵庫ノ如キ著明ナル
地へ搬運スルモノト視認タルモノ而已ヲ掲載セリ其他
甲ノ一小部分ニ出テ乙ノ一部分ニ入ル者ノ如キハ甲乙
相ヒ補償スル一市場ノ交易ニ過キササルモノト看做シ暫
ク他日ヲ俟ツテ布算スヘキモノトナシ大觀上ノ際算ヲ
為スモノナリ然レモ此ニ顯ハス輸出ノ國名及ヒ其石數
ハ諛地ニ羨餘セルモノト看認ムルモノヲ算出セル原額
タレハ大ナル差異ハアルヘカラサルモノトス但其輸送
ノ何レノ地ニ達スル歟ハ恰モ空中樓閣ノ數ニシテ提摸
スヘカラサル憶算ナリ暫ク以テ參考ニ供スル耳



大藏經